



ネットワークビデオレコーダー

型名 **VR-X8500**

Milestone XProtect
Mobile クライアント
ユーザーマニュアル

本書では、ビューワー "XProtect Mobile" について、VR-X8500 取扱説明書（操作・設定編）に掲載されていない詳しい操作方法や応用操作について説明しています。

本書は Milestone Systems A/S が作成した取扱説明書をオリジナルのまま掲載しており、すべての XProtect VMS 製品が対象となっています。

本機で採用している XProtect Express+ では対応していない機能に関する記載も含まれていますので、ご注意ください。

目次

著作権、商標、および免責条項	4
概要	5
はじめに	5
XProtect Mobileのサーバーおよびクライアントコンポーネントについて（説明付き）	5
XProtect AccessおよびXProtect Mobile（説明付き）	6
要件と注意事項	9
開始する前に（システム管理者用）	9
音声を聞くための要件	10
プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件	10
ビデオプッシュ使用の要件	11
ダイレクトストリーミングの要件	11
インストール	12
XProtect Mobile Serverサーバーコンポーネントのインストール(システム管理者用)	12
モバイル デバイスでXProtect Mobileをインストールする	14
設定	15
サーバーのユーザープロファイルを構成する（システム管理者用）	15
XProtect Mobileでアクセスリクエスト通知を有効化する	15
アプリの言語を選択	16
モバイル デバイスをモバイル サーバーに接続する	16
モバイルサーバーの接続設定	19
モバイルサーバーへの接続の表示と編集	21
通知の有効化または無効化	22
ボタンと設定の概要	23
モバイルデバイスからのビデオのストリーム（説明付き）	30
モバイルデバイスでのビデオストリームの設定	30
受信音声の再生(説明付き)	31
プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）	32
ダイレクトストリーミング（説明付き）	33

アダプティブストリーミング (説明付き)	34
操作	36
XProtect Mobileアプリにログインする	36
ライブビデオを閲覧する	38
ビューのフィルタリング	40
全画面でライブビデオを操作する	41
ピクチャ イン ピクチャの使用	42
スナップショットの作成	43
ビデオ録画の検索と表示	43
再生タイムラインの使用 (説明付き)	45
調査の表示または作成	46
デバイスから監視システムにビデオをストリームします。	48
アラームを表示	49
XProtect Mobileでアクションを使用する	50
アクションの表示と起動	50
通知に応答する	51
ドア表示して対応する	51
アクセスリクエストへの応答	52
アクセスコントロールイベントの調査	54

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2021 Milestone Systems A/S

商標

XProtectはMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/Sは、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いのMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtを参照してください。

概要

はじめに

このマニュアルは、XProtect Mobile モバイルデバイスAndroidまたはiOSを使用しているユーザーのためのものです。

XProtect Mobileのサーバーおよびクライアントコンポーネントについて (説明付き)

無料のXProtect Mobileアプリでは以下を実行できます。

- ライブビデオとビデオ録画を閲覧する
- ライブビデオとビデオ録画において受信音声と送信音声を再生する
 - 1つのカメラからライブビデオを見ている時にプッシュ・トゥ・トーク (PTT) 機能を使用する
 - 再生モード時に受信音声と送信音声を再生する
- ビデオプッシュを使用して、モバイルデバイスのカメラから音声付きライブビデオをXProtect監視システムにストリーミングする
- 調査を作る
- ビデオ監視システムでイベントを起動するアクションを起こす
- 様々なイベントで引き起こされたアラームのビデオを見る

XProtect Mobileには5コンポーネントあります:

- XProtect MobileクライアントはAndroidまたはiOS デバイスでインストールして使用できるモバイル監視アプリです。XProtect Mobileクライアントがインストールした必要な数だけ使うことができます。詳細については、「[ページ12のXProtect Mobile Serverサーバーコンポーネントのインストール\(システム管理者用\)](#)」を参照してください。
- XProtect Web Clientウェブブラウザ内でライブビデオを見る、あるいは録画をダウンロードする
- XProtect Mobileサーバーは、XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientユーザーにシステムへのアクセスを与える責任があります。
- XProtect Mobileプラグイン
- Mobile Server Manager

XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientのシステムゲートウェイとして機能することに加え、このモバイルサーバーは、多くの場合大きすぎてクライアントユーザーが利用できる帯域幅に収まらないオリジナルカメラビデオストリームのビデオコードを変換できます。

XProtect Mobileはライブモードでのダイレクト ストリーミングとアダプティブ ストリーミングに対応しています (XProtect ExpertとXProtect Corporateのみ)。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

XProtect AccessおよびXProtect Mobile（説明付き）



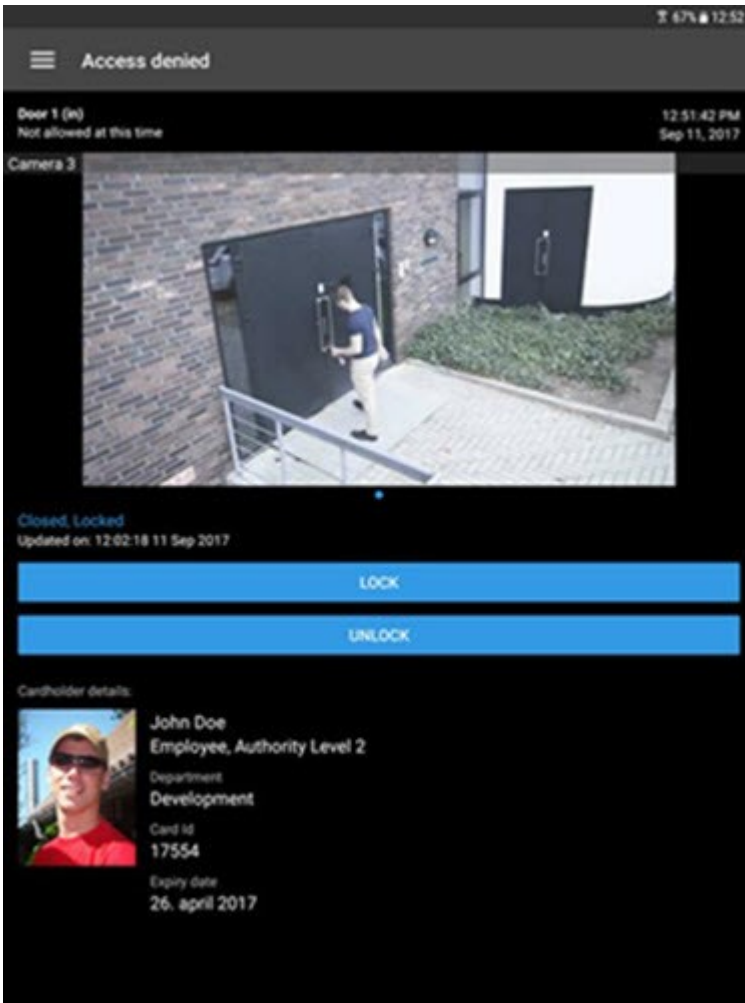
XProtect Accessを使用する場合、XProtectシステムでこの機能の使用を許可する基本ライセンスを購入しておく必要があります。また、制御する各ドア用のアクセスコントロールドライセンスも必要です。

XProtect AccessとXProtect Mobileアプリがスマートフォンまたはタブレットにインストールされている状態では以下が可能です。

- アクセスポイントでのイベントのライブ監視
- オペレータによるアクセスリクエストの受理
- アクセスポイントでのイベントの調査
- ドアの状態の一元化された概要とコントロール
- カードホルダー情報

アクセスリクエスト

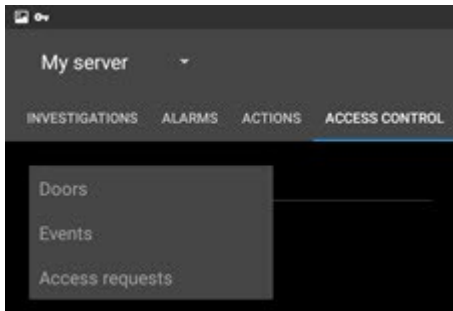
デバイスでアクセスリクエストを受信すると、次のように表示されます。



アクセスリクエストにより以下が可能になります。

- 「閉」、「ロック」等のドアの状態を確認する
- ライブビデオを閲覧する
- カードホルダーの詳細（写真や権限レベル）を表示する
- ドアを施錠したり、カードホルダーのためにドアを解錠してアクセスを許可する
- ライブモードで受信音声を再生する
- 1つのカメラからライブビデオを見ている時にプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用する

アクセスリクエストの下にアクセスリクエストが2分間一覧表示されます。その後は、イベントリストにのみ表示されます。このリストでは、カードホルダーがアクセスを試みた際に録画されたビデオを再生できます。



要件と注意事項

開始する前に（システム管理者用）

XProtect Mobileアプリをアクセスコントロールの目的で使用するには、次のものがが必要です。

- Milestone Care Plusサービス契約
- XProtect Accessを使用するために必要なライセンス これには、各ドアの基本ライセンスとドアライセンスが含まれます。
- VMSシステムに設定、統合されたアクセスコントロールシステム
- 下記にリストされている製品のいずれか1つを使用している場合は、アクセスコントロールとアクセスリクエストが可能となるよう、ユーザープロファイルを設定する必要があります：
 - XProtect Corporate
 - XProtect Expert
 - XProtect Professional+
 - XProtect Express+
 - XProtect Essential+

XProtect Essential+を使用している場合は、[ページ15のサーバーのユーザープロファイルを構成する（システム管理者用）](#)も参照してください。

- 下記にリストされている製品のいずれかを使用している場合は、ユーザー プロファイルを設定して、アクセスコントロールを有効にする必要があります。アクセス リクエストはデフォルトで有効になっています
 - XProtect Professional
 - XProtectExpress（[ページ15のサーバーのユーザープロファイルを構成する（システム管理者用）](#)を参照）
- App StoreSM またはGoogle PlayからXProtect Mobileアプリをダウンロードして、ご自身のスマートフォンまたはタブレットにインストールする必要があります。
- XProtect Mobileアプリケーションでは、
 1. モバイルサーバーのサーバー設定を指定しなくてはなりません（[ページ16の モバイル デバイスをモバイル サーバーに接続する](#)を参照）。
 2. サーバー設定で、アクセスリクエスト通知を有効にしてください（[ページ15のXProtect Mobileでアクセスリクエスト通知を有効化する](#)を参照）。



オペレータのログインが必要オプションを有効にした場合、XProtect Mobileクライアントではアクセスコントロールシステムを使用できません。詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

音声を聞くための要件

モバイルデバイスを通じ、VMSシステムのカメラのインカム音声を聞くには、以下を保持していなければなりません:

- マイクがカメラに付随していること



お使いの監視システムにおけるカメラがマイクを付随している場合、追加の設定は必要なく、音声を再生することができます。カメラツールバーにおける音声アイコンは、音声機能が有効かどうかを表示します。

- ユーザー権限が不十分です



入ってくる音声機能へのアクセスは、ユーザー権限によって制限されることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

- CA認証接続ができるHTTPまたはHTTPS

HTTPS接続を使用したい場合は、認証管理者 (CA) からのデジタル証明書をXProtect Mobileサーバーにインストールしておく必要があります。



CAsはユーザーのアイデンティティーとインターネット上のデータ交換webサイトをデジタル認証します。CAの例は、Comodo、Symantec、GoDaddyなどの企業です。証明書の詳細な情報については、[暗号化を有効にする](#)を参照してください。

プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件

プッシュ ツー トーク (PTT) 機能をVMSのモバイル デバイスで使用するには以下が必要です:

- スピーカー付きカメラ
- ユーザー権限が不十分です



ユーザー 権限によっては、プッシュ-トゥ-トーク機能へのアクセスが制限される場合があります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

- 許可されたXProtect Mobileモバイルデバイスのマイクを使用するアプリ
- CA認証接続ができるHTTPまたはHTTPS

HTTPS接続を使用したい場合は、認証管理者 (CA) からのデジタル証明書をXProtect Mobileサーバーにインストールしておく必要があります。

ビデオプッシュ使用の要件

ビデオ プッシュを使用して音声付きのビデオをストリームするために、XProtect Mobileアプリがモバイル デバイスのカメラとマイクにアクセスできるようにしてください。

ダイレクトストリーミングの要件

XProtect Mobile は、ライブモードでのダイレクトストリーミングに対応しています (XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ)。

ダイレクトストリーミングを使用すれば、最大で100本以上のライブビデオをフルHD 30 FPSで同時にモニタリングできます。これには以下が必要です。

- H.264またはH.265コーデックに対応しているカメラを使用する
- モバイルデバイスでダイレクトストリーミングを許可します ([ページ23のボタンと設定の概要](#)を参照)

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

インストール

XProtect Mobile Serverサーバーコンポーネントのインストール(システム管理者用)

この情報はシステム 管理者優先です。機能の詳細な説明と、設定および維持管理の手順については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

2013年バージョンおよびそれ以降のバージョンのXProtect製品をインストールする際には、XProtect Mobile Serverコンポーネントをインストールできます：

- XProtect Corporate
- XProtect Expert
- XProtect Professional+
- XProtect Express+
- XProtect Essential+
- XProtect Professional
- XProtect Express
- Milestone Husky
- Milestone Arcus

XProtect Mobileを最大限に活用するには、必ず最新バージョンのVMS製品を使用してください。製品についての情報は、Milestone Webサイト (<https://www.milestonesys.com/solutions/platform/product-index/>) で入手できません。

XProtect Mobile Serverは、Milestone Webサイト (<https://www.milestonesys.com/downloads/>) のダウンロードページから無料でダウンロードすることもできます。

XProtect Mobile Serverコンポーネントをインストールする場所

監視システムを実行するコンピューターまたは専用コンピューター上にXProtect Mobile Serverコンポーネントをインストールします。

システムに10台以上のカメラを設置し、ビデオを同時に表示する場合、Milestoneでは専用コンピューターにXProtect Mobile Serverをインストールするよう推奨しています。

XProtect Mobileサーバーはさまざまな方法でインストールできます：

XProtect製品	インストール方法	
	動画管理ソフトウェアと同一コンピュータ上にインストール	専用コンピュータにインストール
<ul style="list-style-type: none"> • XProtect Professional • XProtect Express 	XProtect Professional VMSソフトウェアの標準インストールを実行します。このインストールにはXProtect Mobile Serverが含まれます。	別のXProtect Mobile Serverインストーラを実行します。
<ul style="list-style-type: none"> • XProtect Corporate • XProtect Expert • XProtect Professional+ • XProtect Express+ • XProtect Essential+ 	XProtect VMSソフトウェアのシングルコンピュータインストールを実行します。このインストールにはXProtect Mobile Serverが含まれます。	別のXProtect Mobile Serverインストーラを実行します。

XProtect Mobileプラグインコンポーネントのインストール

Management ClientあるいはManagement Applicationを実行するすべてのコンピュータにXProtect Mobileプラグインをインストール必要があります：

1. XProtect Mobileインストーラを実行します。
2. **カスタム**インストールを選択し、プラグイン(32ビットまたは64ビット)を選択します。両方インストールしてもかまいません。
3. Management ClientまたはManagement Applicationを再起動します。

オペレーティングシステム

XProtect Mobileは次のモバイル デバイス用オペレーティング システムをサポートします。

オペレーティングシステム	デバイス
Android 8.0以降	Androidをインストールしたスマートフォンやタブレット
iOS 13以降	iPhone, iPad, と iPod Touch

モバイル デバイスでXProtect Mobileをインストールする

モバイル デバイスで、Google Playまたは App StoreSM からXProtect Mobileアプリケーションを無料でダウンロードできます。

1. 「XProtect Mobile」を検索してアプリストアでアプリを見つけ、モバイルデバイスにインストールします。
XProtect Mobileのロゴ アイコンがデバイスの画面に表示されます。
2. XProtect Mobileを実行するには、このアイコンをタップします。



デフォルトでは、Milestoneデモサーバーがインストールを行います。サーバーを使用して、アプリをテストします。サーバーはテスト用であるため一部の機能はご利用いただけません。たとえば、PTZ（パン/チルト/ズーム）コントロールを使用できません。

デモサーバーを削除または編集することはできませんが、サーバーリストで非表示にすることは可能です。サーバーを非表示にするには【設定】に移動し、【全般】で【デモサーバーを非表示】設定を有効にします。

カメラからビデオを表示するには、アプリを1つ以上のモバイルサーバーに接続してください（[ページ16の モバイル デバイスをモバイル サーバーに接続する](#)を参照）。

設定

サーバーのユーザープロファイルを構成する（システム管理者用）

XProtect Mobileのユーザーがアクセスコントロールを使用してアクセスリクエストをスマートフォンやタブレットに表示して対応できるように、特定のユーザー権限を有効にする必要があります。お使いになっているVMSに応じて、設定はわずかに異なります。

Management Client :

1. **セキュリティ**を展開し、**役割**を選択します。
2. 変更したい役割を選択してください。
3. **役割設定**で、**アクセスコントロール**タブをクリックします。
4. 次のチェックボックスがまだ選択されていない場合はオンにします。
 - **アクセスコントロールの使用** - XProtect Mobileのアクセスコントロール機能を参照するために必要となります。
 - **通知を受信する** - プッシュ通知としてアクセスリクエストを受信するために必要となります。
5. 必要な役割ごとに、上記の手順を繰り返します。
6. 変更を保存します。

Management Application :

1. **詳細設定**を展開します。
2. **ユーザー**を展開します。
3. **ユーザー**を右クリックし**プロパティ**を選択します。ウィンドウが表示されます。
4. **アクセスコントロール** タブで、**アクセスコントロールの使用** チェックボックスが選択されていることを確認してください。
5. **OK**をクリックします。


XProtect Mobileでアクセスリクエスト通知を有効化する



VMSから通知を受け取るには、Milestone Care Plusライセンスを購入する必要があります。アクセスリクエスト通知はデフォルトで有効になっています。

サーバーのセキュリティ設定に加えて、XProtect Mobileのサーバー設定でアクセスリクエスト通知を有効にする必要があります。これは、アプリが接続されているすべてのサーバーで行う必要があります。

1. XProtect Mobileアプリを開き、以下の手順に従います：

- Android-サーバーリスト上で接続したいサーバーに移動し、をタップしてから**編集**をタップします
- iOS - サーバーリストの右上にある**編集**をタップしてから、接続したいサーバーをタップします

2. **通知で通知の受信**オプションを有効にします。

3. **通知設定** (iOS) または**タップして設定** (Android) をタップして、**アクセスリクエスト**を有効にします。

4. **完了**をタップします。

アクセスリクエストが無効になっていると、いかなるアクセスリクエストに関する通知も受けることはなく、アクセスリクエストのリストがXProtect Mobileアプリに表示されなくなります。

アプリの言語を選択

デフォルトでは、XProtect Mobileアプリはデバイスの言語を使用します。たとえば、デバイスがフランス語を使用している場合は、XProtect Mobileクライアントはフランス語で表示されます。

他の言語を使用するには、デバイスで言語を変更します。XProtect Mobileアプリを再始動して変更内容を適用します。



特定の言語でXProtect Mobileクライアントを使用するには、お使いのデバイスがその言語をサポートしていません。

モバイル デバイスをモバイル サーバーに接続する

Google Androidまたは Apple iOSを使用しているデバイスと接続できます。

要件：


- システム管理者にネットワークとユーザー詳細情報を確認してください。
- アプリがインストールされ、開かれている
- HTTPS接続を使用したい場合は、認証管理者 (CA) からのデジタル証明書をXProtect Mobileサーバーにインストールしておく必要があります。



自己署名した証明書の使用時には、XProtect Mobileアプリを使用してモバイルサーバーに接続することはできません。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。


以前に使用したことのないサーバーに接続する

1. XProtect Mobileアプリを開きます。
2. **【サーバー】**画面で：
 - Android - モバイルサーバーを検索するためにローカルネットワークをスキャンするには**サーバーの追加**をタップします
 - iOS - **編集**をタップしてから**サーバーの追加**をタップし、ローカルネットワークをスキャンしてモバイルサーバーを検索します
3. **サーバーを手動で追加**をタップして手動で追加するサーバーを選択できます。**サーバーの追加**画面が開きます。
 1. **サーバー詳細**で、サーバーの名前とIPアドレスを入力します。デバイス上のサーバーリスト内にサーバー名が表示され、選びたいものを選ぶことが可能です。
 2. **ユーザー詳細**で、ユーザー認証情報を入力します。ユーザープロファイルは、監視システムでシステム管理者が定義します。
 3. あるいは、次の操作を行うことができます：
 - **自動接続**の有効化 - サーバーアドレスが変更された場合でも、モバイルサーバーに接続できます
 - **安全な接続**設定を変更します。デフォルトで、接続ではHTTPSを使用し、**[安全な接続]**の設定が有効になっています。HTTP接続を使用するには、この設定を無効にする必要があります

 HTTP接続が設定されているモバイルサーバーに接続するには、アプリ側で**安全な接続**を無効にしなくてはなりません。詳しくは、システム管理者にお問い合わせください。

 - **デフォルトサーバー**設定を有効にすると、起動時にこのモバイルサーバーに常に接続できます。XProtect Mobile
 - **通知の受領**設定を有効にすると、アラームが起動された場合や、デバイスに問題がある場合に通知を受けられます（[ページ22の通知の有効化または無効化](#)を参照）
 - **認証情報の保存**を有効にすると、次回ログインした際に認証情報を入力する必要がありません。この設定を有効にすると、通知も受領できます。
4. 設定を保存するには：
 - Android - **サーバー設定を保存**をタップします
 - iOS - **完了**をタップします
5. **サーバー**画面でモバイルサーバーをタップします。**ログイン**画面が表示されます。
6. XProtect Mobile Serverのログイン認証情報を入力し、**ログイン**をタップします（[ページ36のXProtect Mobileアプリにログインする](#)を参照）。

以前使用していたサーバーに接続する

1. XProtect Mobileアプリを開きます。
2. **【サーバー】**画面で：
 - Android - モバイルサーバーを検索するためにローカルネットワークをスキャンするには**サーバーの追加**をタップします
 - iOS - **編集**をタップしてから**サーバーの追加**をタップし、ローカルネットワークをスキャンしてモバイルサーバーを検索します
3. 以前接続したことのある**すでに追加されたサーバー** グループリスト1つ以上のサーバーを選択してから  をタップして保存します。
4. **サーバー**画面でモバイルサーバーをタップします。**ログイン**画面が表示されます。
5. XProtect Mobile Serverのログイン認証情報を入力し、**ログイン**をタップします（[ページ36のXProtect Mobileアプリにログインする](#)を参照）。

サーバーの一意的IDを入力して接続する



この接続方法は、アドレスブックサービスを使用し、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。

サーバーの一意的IDについては、システム管理者に確認してください。

1. XProtect Mobileアプリを開きます。
2. **【サーバー】**画面で：
 - Android - モバイルサーバーを検索するためにローカルネットワークをスキャンするには**サーバーの追加**をタップします
 - iOS - **編集**をタップしてから**サーバーの追加**をタップし、ローカルネットワークをスキャンしてモバイルサーバーを検索します
3. **IDでサーバーを追加**をタップします。
4. サーバーIDを入力して、**サーバーの追加**をタップします。
5. **サーバー**画面でモバイルサーバーをタップします。**ログイン**画面が表示されます。
6. XProtect Mobile Serverのログイン認証情報を入力し、**ログイン**をタップします（[ページ36のXProtect Mobileアプリにログインする](#)を参照）。

eメールから接続



この接続方法は、アドレスブックサービスを使用し、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。


システム 管理者があなたにサーバー固有の識別子を含んだeメールを送ります。IDを使用して、モバイルデバイスをモバイルサーバーに接続します。

1. モバイル デバイスで、システム 管理者からのeメールを探す。
2. XProtect Mobileがインストールされていない場合は、**XProtect Mobileをダウンロード**をタップし、ダウンロードできるストアに移動します。その後、デバイスにアプリをインストールします。
3. 同じメールで、**XProtect Mobileにサーバーを追加**をタップします。
4. **サーバー**画面でモバイルサーバーをタップします。**ログイン**画面が表示されます。
5. XProtect Mobile Serverのログイン認証情報を入力し、**ログイン**をタップします ([ページ36のXProtect Mobileアプリにログインする](#)を参照)。

モバイルサーバーの接続設定

モバイルサーバーをXProtect Mobileアプリに追加するには以下を設定してください。

設定	説明
名前	サーバーの名前。 デバイス上のサーバーリスト上に名前が表示され、追加したいものをどれでも選ぶことができます。
アドレス	XProtect Mobile Serverを実行しているコンピュータのIPアドレス。IPアドレスがわからない時は、コンピュータのホスト名を挿入してください。
ポート 安全なポート	XProtect Mobileクライアントがサーバーと通信するために使用するポート番号。HTTP接続の場合、デフォルトのポートは8081です。 HTTPS接続の場合、デフォルトのポートは8082です。


設定	説明
	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #fff9e6;">  <p>ポート番号を編集する場合、サーバー側の対応するポート番号も編集する必要があります。XProtect Mobileさもなければ、アプリとサーバーは通信できません。</p> </div>
<p>自動接続</p>	<p>サーバーアドレスが変更された場合でも、自動接続を使用するとモバイルサーバーに接続できます。この設定はデフォルトで有効になっています。</p>
<p>安全な接続</p>	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #fff9e6;">  <p>アプリ側で安全な接続設定を無効にする場合は、モバイルサーバー側でもHTTPS接続設定が無効になっていることを確認してください。XProtect Mobileさもなければ、アプリとサーバーは通信できません。</p> </div> <p>不明な場合は、システム管理者にお問い合わせください。</p>
<p>ユーザー名</p>	<p>ユーザー名。</p>
<p>パスワード</p>	<p>パスワード。ユーザー名とパスワードはManagement Clientで設定された基本ユーザー、Management Application、またはWindowsユーザーに基づいています。Windowsユーザー認証情報は、コンピューターまたはドメインに固有です。</p>
<p>資格情報を保存</p>	<p>追加済みのサーバーに次回接続する際のため、ユーザー名とパスワードをXProtect Mobileに記憶させたいかどうか示唆します。この設定を無効にすると、通知は送信されなくなります。</p>
<p>デフォルトサーバー</p>	<p>XProtect Mobileを開くときに、このサーバーにログインするかどうかを示します。</p>

設定	説明
通知の受信	通知を受け取るかどうかを示します。通知を受けるには、 認証情報の保存 の設定を有効にする必要があります。
タップして設定 (Android) 通知設定 (iOS)	希望する通知のタイプを表示します: <ul style="list-style-type: none"> • すべてのアラーム - アラームの所有者やソースに関係なく、いずれかのアラームが起動した時点で通知が送られます。 • マイアラーム - 自身が所有するアラームが起動した時点で、または他の人からアラームを割り当てられた時点で通知が送られます。 • アラームを無効化 - イベントによってアラームが起動しても通知は送られません。ただし、これらのアラームイベントをアラームで確認することはできません

モバイルサーバーへの接続の表示と編集

接続タイプを変更したり、デフォルトのサーバーとして別のサーバーを選択したい場合などに、モバイルサーバーへの接続の設定を表示して変更できます。

1. 【サーバー】画面で：


- Android - サーバーのリストで関連するサーバーの  をタップしてから**編集**をタップし、**サーバーの編集画面**を開きます
- iOS - **編集**をタップしてから関連のあるモバイルサーバーをタップし、**サーバーの編集画面**を開きます

2. 設定を表示および編集します。

- **自動接続** - サーバーアドレスが変更された場合でもモバイルサーバーに接続できます。この設定はデフォルトで有効になっています。
- **安全な接続** - サーバーに接続する際、HTTPSを使用します。デフォルトで、HTTPS接続は有効になっています



HTTPS接続を使用したい場合は、認証管理者(CA)からのデジタル証明書をXProtectMobileサーバーにインストールしておく必要があります。自己署名した証明書の使用時には、XProtectMobileアプリを使用してモバイルサーバーに接続することはできません。詳しくは、システム管理者に確認してください。

- **サーバー接続** - サーバーのアドレスが一覧表示されます
 - 手動でモバイルサーバーのアドレスを追加するには、**アドレスの追加**をタップしてください。モバイルサーバーのIPアドレスとポート番号を入力し、**アドレスを保存** (Android) または**保存** (iOS) をタップします。
 - モバイルサーバーのアドレスを削除するには：
 - Android - 該当するサーバーアドレスで  をタップし、**削除**をタップします。次に**はい**をタップして確定します
 - iOS - **編集**をタップし、該当するサーバーアドレスをタップしてから**削除**をタップします。次に**保存**をタップします
- **ユーザー 詳細** - ログイン資格情報
- **クレデンシャル情報を保存** - ログイン資格情報を記憶させる
- **デフォルトサーバー** - XProtect Mobileの起動時に常にこのサーバーに接続します
- **パスワードを変更** - 基本ユーザーはいつでもパスワードを変更できます（[ページ36のXProtect Mobileアプリにログインする](#)を参照）


通知の有効化または無効化

監視システムでイベントやアラームを設定すると、XProtect Mobileは、イベントでアラームが起動した場合や、デバイスまたはサーバーに何か問題がある場合に通知を送ります。アプリが開いている場合、XProtect Mobileは、アプリに通知を表示します。

通知の有効化または無効化

デフォルトでは、通知はサーバーの追加時に有効になります。これらの通知は、XProtect Mobileアプリが開いている際に送られます。

1. XProtect Mobileを開き、次の操作を行います。

- Android - サーバー リスト上で接続したいサーバーに移動し、 をタップしてから**[編集]**をタップし、次に**[通知]**で**[通知の受信]**を有効または無効にします。
- iOS - サーバー リストの右上にある**[編集]**をタップします。サーバーリスト上で接続したいサーバーに移動し、**[通知]** で **[通知の受信]** を有効または無効にします



通知の受領を無効にすると、サーバーステータス通知しか送られなくなります。通知を受けるには、**認証情報の保存**の設定を有効にする必要があります。


2. 通知を受けたいアラームを指定するには、**通知設定** (iOS) または**タップして設定** (Android) をタップして以下のいずれかを実行します：
 - **アラーム**を有効にする：
 - **【すべてのアラーム】** を選択 - アラームの所有者やソースに関係なく、いずれかのアラームが起動した時点で通知が送られます
 - **マイアラーム**を選択 - 自身が所有するアラームが起動した時点で、または他の人からアラームを割り当てられた時点で通知が送られます
 - **アラーム**を無効化 - イベントによってアラームが起動しても通知は送られません。ただし、これらのアラームイベントを**アラーム**で確認することはできません。
3. 変更を保存するには：
 - Android - **サーバー設定を保存**をタップします
 - iOS - **完了**をタップします

プッシュ通知の有効化



プッシュ通知は、Milestone Care Plusライセンスを購入された場合にのみ利用できます。

アプリが開いていない場合でも、XProtect Mobileの通知を希望する場合は、プッシュ通知を有効にします。プッシュ通知がモバイルデバイスに送信されます。モバイルデバイスの通知設定により、通知方法が決まります。たとえば、バナーを表示したり、別の音を鳴らすことができます。

1. XProtect Mobileを開き、上記のステップに従って通知を有効にします。
2. プッシュ通知を有効にするには：
 - Android -**サーバー**ページで  をタップし、**全般**で**プッシュ通知**設定を有効にします
 - iOS - お使いのデバイスの設定に移動します。**XProtect Mobile**をタップしてから、**【通知】**をタップします。**【通知を許可】**設定を有効にします

ボタンと設定の概要


このトピックでは、XProtect Mobileアプリのボタンと設定についてリストアップしながら説明します。アプリで操作方法がわからない項目がある場合は、ここを参照できます。

アプリを起動すると表示される**【サーバー】**画面には以下の設定が用意されています。


名前	説明
サーバーを追加する	ローカルネットワークをスキャンして、使用可能なモバイルサーバーを検索します。
IDとともにサーバーを追加する	固有サーバーの識別子を使用してサーバーを追加。この接続方法は、アドレスブックサービスを使用し、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。
サーバーを手動で追加する	サーバーの名前、IP アドレス、ユーザー ログイン資格情報を入力する。
 (Android) 編集 (iOS)	<ul style="list-style-type: none"> • 編集 - サーバーの設定を編集します • 削除 - サーバーをリストから削除します • 接続 (Android) - サーバーに接続します
 (Android) 設定 (iOS)	表示または変更: <ul style="list-style-type: none"> • [全般] 設定: <ul style="list-style-type: none"> • 起動状態を維持 - ビデオのストリーミング中も画面を起動したままにします • デモサーバーを非表示 - デモサーバーがサーバーリストに表示されないようにします • 使用データを提供 - 優れたサービスをお届けするための一助となります システムをEU GDPRに準拠するインストールにしたい場合は、データ収集を有効にしないでください。詳細については、GDPRプライバシーガイドを参照してください。 • プッシュ通知 - プッシュ通知を受け取ることができるようになります

名前	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオ画質設定： <ul style="list-style-type: none"> • FPS（秒あたりのフレーム数） - FPSを下げることで帯域幅の使用が抑えられます • 帯域幅または画質の最適化 - 帯域幅の使用を抑えることができます。無効にすると画質が向上します • 低い画質を使用 - より高いFPSレートを使用できるようになります • デバイスへのダイレクトストリーミングを許可 - ビデオ画質が向上します。ダイレクトストリーミングは、サーバーで有効になっている場合のみ可能です • 管理設定： <ul style="list-style-type: none"> • ビデオコントロールを自動的に非表示 - 操作が一定時間が行われないと、ビデオコントロールが自動的に非表示になります • デフォルトのPTZコントロール - PTZコントロールの希望のデフォルト設定を選択します <p>XProtect Mobileの使用について詳しくは、[ヘルプ] リンクをタップして参照してください。</p>


サーバーにログイン後は、Androidのトップバーと iOSのボトムタブで以下のオプションが可能です：



これらのオプションは、これを表示する権限がある場合にのみ使用できます（Management ClientまたはManagement Applicationに表示）。





名前	説明
<p>ビュー (Android)</p>  (iOS)	<p>利用可能なビューが表示されるほか、プレビューも確認できます。ビデオを再生するビューを選択します（ライブまたは録画）。調査を作成することもできます。</p>

名前	説明
アクション (Android)  (iOS)	アクセス アウトプット と イベント をアクティベート
調査 (Android)  (iOS)	XProtect Web ClientまたはXProtect Mobileクライアントで作成された調査を表示します。
 (Android)  (iOS)	ビデオプッシュを使用すれば、モバイルデバイスのカメラから音声付きビデオを監視システムにストリーミングできます。 以下を表示または変更するには、 [ビデオプッシュ] 画面で  (Android) または [設定] (iOS) に移動します。 <ul style="list-style-type: none"> • ビデオ解像度 - プッシュするビデオストリームの解像度を選択します • 自動画質 - 画質が自動的に調整されます。この設定を無効にした場合、画質を低、中、高のいずれかに設定できます • 位置データ - ビデオストリームに位置データを追加します • XProtect Corporate • XProtect Expert • XProtect Professional+ • XProtect Express+ • XProtect Essential+
アラーム (Android)  (iOS)	アラームを表示または応答します。
 (Android)  (iOS)	カメラのビューにフィルターをかけます。デフォルトで、選択された全てのビュー

名前	説明
	<p>ビューまたは特定のカメラを探す</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全てのPTZ カメラを探すには「ptz」と入力します • すべてのマイク付きのカメラを探すには「音声」と入力します • 全てのスピーカー付きカメラを探すには「ptt」と入力します

ライブモードでは、これらのボタンを使用することで以下が可能です。

名前	説明
 (Android)  (iOS)	<p>選択したカメラに対するアクションリストが表示されます。</p>
 (Android)  (iOS)	<p>PTZモードに入ります。スクリーンにPTZコントロールが表示され、これを用いて選択したカメラのパン、チルト、ズームイン操作ができます。PTZカメラ以外の場合はグレー表示になります。</p>
 (Android)  (iOS)	<p>選択したカメラのPTZプリセット位置が表示されます (PTZカメラのみ)。</p>
 (Android)  (iOS)	<p>現在のフレームのスナップショットを撮影します。スナップショットは次のように保存されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> • スナップショットは/mnt/sdcard/MilestoneでデバイスのSDカードに保存されます (Android)。 • スナップショットはお使いのデバイスのフォトライブラリに保存され、デバイスの写真をタップするとアクセスできます (iOS)。 <p>保存場所は変更できません。</p>
	<p>マイク付きカメラからインカム音声を聞く、を開始またはストップ</p>

名前	説明
(Android)  (iOS)	
	スピーカー付きカメラのプッシュ-トゥ-トーク(PTT) 機能を開始またはストップg
 (Android)  (iOS)	再生モードからライブモードへ切り替えます。

再生モードでは、これらのボタンを使用することで以下が可能です。

名前	説明
 (Android)  (iOS)	作成したビデオ録画のリストを表示します。
 (Android)  (iOS)	ライブモードのために小さなピクチャーインピクチャーを表示する/消す (PiP)ボタンを再度タップ、またはPiPビューをダブルタップすると、ライブモードに戻ります。
 (Android)  (iOS)	調査を作成します。
 (Android)  (iOS)	ビデオ録画を順方向に再生します。
 (Android)	ビデオ録画を逆方向に再生します。

名前	説明
 (iOS)	
 (Android)  (iOS)	<p>ビデオ録画の再生を一時停止します。</p>
 (Android)  (iOS)	<p>次のシーケンスに進むか、前のシーケンスに戻ります。</p>
 (Android)  (iOS)	<p>シーケンス内のひとつ先のフレームに進むか、またはひとつ前のフレームに戻ります。</p>
	<p>ビデオ録画内の特定の時間に移動します。</p>
<p>X1</p>	<p>再生速度の選択肢が表示されます。</p>
 (Android)  (iOS)	<p>マイクとスピーカー搭載のカメラに保存されている音声を再生します。</p>
 (Android)  (iOS)	<p>再生モード中にスナップショットを撮ります。</p>
 (Android)  (iOS)	<p>ライブモードに戻ります。</p>

モバイルデバイスからのビデオのストリーム（説明付き）

ビデオプッシュでは、モバイルデバイスのカメラからXProtect監視システムにライブビデオをストリームできません。

これは、インシデントを調査中のエビデンス収集などに便利です。



「モバイルデバイスからビデオをストリームするのはどのようなときですか？」

- 入口に群衆が集まっていて、制御室を見せたい
- ある犯罪行為を目撃し、犯人の映像がほしい場合
- 目撃者にインタビューをしていて、回答を録画したい場合
- 警備員が状況を処理していて、その行動を文書化したい

管理者はビデオプッシュを設定する必要があります。

ビデオプッシュを使用する前に、システム管理者は、Management ClientあるいはManagement Applicationで次の手順を実行する必要があります。

- モバイルサーバーへのチャンネルの追加
- ビデオプッシュドライバをハードウェアデバイスとして追加する
- ビデオストリーミングに使うカメラにつながっているマイクを有効にします。
- デバイスからビデオをストリームできるユーザーを指定する




ビデオプッシュは、横長モードまたは縦長モードで利用できます。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

モバイルデバイスでのビデオストリームの設定

Androidの設定

[ビデオ プッシュ] 画面で  をタップします。

[ビデオプッシュ設定] 画面で以下を指定します：

- **ビデオ解像度** - ビデオストリームの解像度は**低**、**中**、**高**、**HD**のいずれかに設定できます。
- **自動画質** - 有効にすると、ビデオストリームの画質が自動的に調整されます
- ビデオストリームの画質を**低**、**中**、**高**に設定することもできます
- **位置データ** - 有効にすると、ビデオのストリーミング中に自身の位置についての詳細を含めることができます。このためには、デバイスで位置情報をオンにする必要があります。以下でのみ利用可能：
 - XProtect Corporate
 - XProtect Expert
 - XProtect Professional+
 - XProtect Express+
 - XProtect Essential+

iOSの設定

[ビデオプッシュ] 画面で [設定] をタップします。

[ビデオプッシュ設定] 画面で以下を指定します：

- **ビデオ解像度** - ビデオストリームの解像度は**低**、**中**、**高**、**HD**のいずれかに設定できます。
- **画質** - XProtect Mobileによる画質の自動調整を許可するか、画質を**低**、**中**、**高**のいずれかに設定します。デフォルトでは、**自動**画質が有効になっています。これは、ビデオの品質に影響する可能性があります。



接続速度が遅い場合、安定したFPSが得られるようXProtect Mobileクライアントにより画像の圧縮が変更されます。サーバーにより、ライブビデオを見る際のサービスのクオリティは異なります。

- **位置データ** - 有効にすると、ビデオのストリーミング中に自身の位置についての詳細を含めることができます。以下でのみ利用可能：
 - XProtect Corporate
 - XProtect Expert
 - XProtect Professional+
 - XProtect Express+
 - XProtect Essential+

受信音声の再生(説明付き)

XProtect Mobileクライアントがインカムオーディオをサポートしている時:

- ライブビデオを閲覧します（[ページ38のライブビデオを閲覧する](#)を参照）



カメラに付随のマイクから入ってくるライブ音声は、もしこれらのカメラからのライブビデオストリームが無い場合でも再生可能です。

- ビデオ録画を再生します（[ページ43のビデオ録画の検索と表示](#)を参照）

音声の受信は以下の場合においても利用可能です：

- 調査（[ページ46の調査の表示または作成](#)を参照）
- アラーム（[ページ49のアラームを表示](#)を参照）
- アクセスコントロール（[ページ51のドア表示して対応する](#)、[ページ52のアクセスリクエストへの応答](#)、[ページ54のアクセスコントロールイベントの調査](#)を参照）

プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）

この機能により、VMSシステムを介した通信が可能となります(モバイルデバイスのマイクを使用して、音声装置付きビデオカメラの付近にいる人々と通信できます)。再生モード時には、録音された会話も再生することができません。

XProtect Mobileクライアントがサポートするプッシュ-トゥ-トーク(PTT) 機能:

- 1つのカメラからのライブビデオを見ている間（[ページ38のライブビデオを閲覧する](#)を参照）
- ビデオ録画に録音された送信音声を再生する間（[ページ43のビデオ録画の検索と表示](#)を参照）
- 調査（[ページ46の調査の表示または作成](#)を参照）
- アラーム（[ページ49のアラームを表示](#)を参照）
- アクセスコントロール（[ページ51のドア表示して対応する](#)、[ページ54のアクセスコントロールイベントの調査](#)、[ページ52のアクセスリクエストへの応答](#)を参照）



XProtect Mobileアプリによるデバイスのマイクへのアクセスを許可してください（[ページ10のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件](#)を参照）。

プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用できる場合は、カメラツールバーに**プッシュ・トゥ・トーク**ボタンが現れます。そのアイコンは以下の状況を表しています：

アイコン	説明
 (使用可能)	<p>ライブモードで、プッシュ・トゥ・トーク (PTT) 機能が使用でき、使用条件をすべて満たしていることを示します。使用開始するにはタップ & ホールド音声の送信を終了するには、ボタンをリリース。</p>
 (アクティブ)	<p>ライブモードで、現在プッシュ・トゥ・トーク (PTT) 機能が使用中であることを示します。モバイル デバイスのマイクとビデオカメラのスピーカーはアクティブな状態です。ブルーのパルスサークルはサウンドレベルを示しています。</p>
 (無効)	<p>ライブモードでは、プッシュ・トゥ・トーク (PTT) 機能を使用できますが、その使用条件をすべて満たしていないことを示しています (ページ10のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件を参照)。</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(Android)</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>(iOS)</p> </div> </div>	<p>再生モードで  (Android) または  (iOS) をタップすると、ビデオ録画中に受信/送信する録音音声を再生できると、再生する音声ソースを選択できることを示します。</p>

プッシュ・トゥ・トーク割り込みのルール

ユーザー権限のレベルに従い (管理者またはオペレーター)、ライブモード中のプッシュ・トゥ・トークセッションには2つの中断ルールがあります。

- ユーザー 権限が同レベルのユーザーは互いに割り込んではいない
- ユーザー 権限が低いレベルのユーザー(オペレーター)はユーザー 権限が高いレベルのユーザー(管理者)に割り込んではいない。

ダイレクトストリーミング (説明付き)

XProtect Mobileは、ライブモードでのダイレクトストリーミングに対応しています (XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ)。

ダイレクトストリーミングは、H.264コーデック形式のビデオをXProtectシステムからクライアントに直接転送するためのビデオストリーミング技術です。これは、多くの新型IPカメラでサポートされています。ダイレクトストリーミングにはトランスコーディングは不要なため、XProtectにかかる負荷の一部が軽減されます。

ダイレクトストリーミング技術は、（XProtectシステムにより、ビデオがカメラで使用されるコーデックからJPEGファイルへとデコードされる）XProtectのトランスコーディング設定とは対照的です。この機能を有効にすると、カメラとビデオストリーミングの設定を変更することなくCPU使用率が軽減します。ダイレクトストリーミングはまた、同一のハードウェアのパフォーマンスも向上させます（トランスコーディングと比較して最大で5倍の量のビデオストリーミングが可能）。

ダイレクトストリーミング機能を使用して、H.265コーディングに対応しているカメラからビデオを直接XProtect Mobileクライアントに転送することも可能です。

ダイレクトストリーミングは単一カメラビュー、グリッドビュー、ピクチャ・イン・ピクチャ（PiP）で使用できません。

ビデオストリームは以下が発生するとダイレクトストリーミングからトランスコーディングにフォールバックします。

- ダイレクトストリーミング機能がManagement Clientで無効にされたか、要件が満たされていません（[ページ11のダイレクトストリーミングの要件](#)を参照）
- ストリーミングカメラのコーデックがH.264またはH.265ではありません
- ビデオを4秒間以上にわたって再生できない
- サーバーとの接続、またはカメラとの接続が失われました
- ライブビデオ中にプライバシーマスク機能を使用している

アダプティブストリーミング（説明付き）

XProtect Mobileは、ライブモードでのアダプティブストリーミングに対応しています（XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ）。

アダプティブストリーミングは、カメラの同一ビューで複数のライブビデオストリームを閲覧する場合に便利です。この機能はXProtect Mobileサーバーのパフォーマンスを最適化し、XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientを実行しているデバイスの復元能力とパフォーマンスを改善します。

アダプティブストリーミングを活用するには、カメラに解像度の異なる複数のストリームを設定する必要があります。この場合、この機能によって以下が可能となります。

- ビデオ画質の最適化 - 利用可能なもっとも低い解像度（要求したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます
- サーバーパフォーマンスの最適化 - 要求された解像度を低下させた後、使用可能なもっとも低い解像度（低下したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます
- 低帯域幅用に解像度を最適化 - 利用可能なもっとも低い解像度を持つストリームが選択されます（3Gまたは不安定なネットワークを使用している場合に推奨）



ズーム中に要求されるビデオストリームは、常に利用可能なもっとも高い解像度を持つものとなります。



帯域幅の使用はたいいてい、要求したストリームの解像度が下げられるのに併せて減少します。帯域幅の使用は、定義したストリーム構成の他の設定にも依存します。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

操作

XProtect Mobileアプリにログインする

初回ログイン

XProtect Mobileアプリには基本ユーザーまたはWindowsユーザーとしてログインできます。XProtect Management Clientでの認証ログイン方法は、システム管理者が決めます。



Milestoneでは、ユーザー認証情報を管理する際は安全な接続を使用するようお勧めしています。

基本ユーザーとしてログインするには、システム管理者から渡された一時的なパスワードを変更する必要があります。

1. XProtect Mobileアプリアイコンをタップします。
2. サーバーのリストで、接続したいモバイルサーバーをタップします。ダイアログボックスが表示されます。
3. **続行**をクリックすると新しいウィンドウが開きます。
4. **新しいパスワードを設定**ウィザードに表示された指示に従い、新しいパスワードを保存します。
5. 変更を保存した後、**サーバー**画面にリダイレクトされます。
6. サーバーのリストで適切なモバイルサーバーをタップします。**ログイン**画面が表示されます。
7. **ユーザー名とパスワード**フィールドで、ログイン認証情報を入力します。
8. (オプション) **認証情報の保存**をタップして、次回ログインする際のためにユーザー名とパスワードを記憶させます。
9. **ログイン**をタップします。

10. (オプション) システム管理者がユーザーアカウントに2要素認証を設定している場合、検証コードを入力するよう求められます。このコードはシステムからメールに送られてきます。詳しくは、システム管理者にメールアドレスについて確認してください。
 1. メールプログラムを開き、番号をメモします。
 2. XProtect Mobileアプリでコードを入力し、**ログイン**をタップします。



指定された時間内には(デフォルト時間は5分)、認証コードを使用しなければ、その認証コードはタイムアウトになります。その後、コードを入力する画面で新しいコードを要求できます。



コード入力の規定回数を越えると(デフォルトは3回)、ブロックされて入力を試すことができなくなります。ブロックされた場合にはXProtect Mobileアプリからログアウトし、ログインし直します。



次回ログインの際にパスワードを変更するようシステム管理者から強制された場合は、上記の手順に従ってログインします。

Windowsユーザーとしてログインするには：

1. XProtect Mobileアプリアイコンをタップします。
2. サーバーのリストで、接続したいモバイルサーバーをタップします。
3. **ユーザー名**および**パスワード**フィールドで、Windowsユーザー認証情報を入力してください。



Windowsユーザー認証情報は、コンピューターまたはドメインに固有です。

4. **ログイン**をタップします。

パスワードの変更



ユーザー認証情報を管理できるようにするには、XProtect VMS 2021 R1以降を使用しなくてはなりません。

パスワードを頻繁に変更すると、XProtect VMSシステムのセキュリティが高くなります。基本ユーザーとしてログインすると、いつでもパスワードを変更できます。さもないと、システム管理者にパスワードを変更するよう強制的に求められます。Windows認証方法を使用する場合は、システム管理者のみがパスワードを変更できます。

1. パスワードを変更するには、XProtect Mobileアプリで**サーバー**画面に進みます。
 - 適切なモバイルサーバーをタップし、**編集**をタップします。**編集**画面が表示されます
 - 最新の認証情報を保存していない場合は、該当するモバイルサーバーをタップしてください。**ログイン**画面が表示されます。
2. **パスワードを変更**をタップして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
3. **新しいパスワードを設定**ウィザードの指示に従い、新しいパスワードを保存します。
4. 変更を保存した後、XProtect Mobileアプリで**サーバー**画面にリダイレクトされます。
5. サーバーのリストで適切なモバイルサーバーをタップします。**ログイン**画面が表示されます。
6. **ユーザー名とパスワード**フィールドで、ログイン認証情報を入力します。
7. (オプション) **認証情報の保存**をタップして、次回ログインする際のためにユーザー名とパスワードを記憶させます。
8. **ログイン**をタップします。



現在のパスワードを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。次回ログインの際にパスワードを変更するようシステム管理者から強制されます。




何度もログインに失敗すると、アカウントはロックアウトされます。ロックアウト時間が切れるのを待つか、システム管理者に連絡できます。管理者はアカウントを再び有効にできるほか、次回ログインの際にパスワードを変更するよう強制する可能性があります。

ライブビデオを閲覧する

XProtect Smart Clientがビューに設定されている時のみ、ビデオを見ることができます。XProtect Mobileではビューを作成できません。また、XProtect Mobileクライアントはビデオのみを表示します。XProtect Smart Clientのビューに、マップ、テキスト、HTMLページなどの他のタイプのコンテンツがある場合は、そのコンテンツは表示されません。

サーバーに接続すると、XProtect Mobileクライアントにビューが一覧表示されます。

- Android - ビューにアクセスするには**[ビュー]**をタップします
- iOS - ビューにアクセスするには  をタップします

ビューの一覧には次の情報が表示されます。



- ビューのタイプ。すべてのカメラ、誰でもアクセスできる**ビューの共有**、またはXProtect Smart Clientで設定しており自分だけがアクセスできる**プライベートビュー**のいずれかになります
- ビューの名前。たとえば、建物Aです。
- ビューで使用可能なカメラ数

カメラからライブビデオの表示を開始する

1. 内臓カメラを表示するにはビューをタップ
2. カメラのプレビュー画像をタップします。
3. オプション。音声の再生を開始するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。音声の再生を停止するには、 (Android) または  (iOS) をタップします (マイク搭載のカメラのみ)。
4. オプション。プッシュ・トゥ・トークを開始するには、 をタップして押し続けます。音声の送信をストップするには  アイコンをリリースします (スピーカー付きカメラの場合のみ)。

カメラからライブビデオの表示を停止するか、別のカメラを表示する

ライブビデオの表示を停止するには、



- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします

ビューの別のカメラからビデオを表示するには、

- 右または左にスワイプします。

カメラインジケータ


カメラインジケータには、カメラがモーションを検出しているのか、またはビデオを録画しているのか、あるいはその両方であるのかが表示されます。カメラインジケータはカメラタイトルバーに表示されます。

シンボル	動きが検知されているか？	ビデオが録画されているか？
	⊗	⊗
	☑	⊗
	⊗	☑

シンボル	動きが検知されているか？	ビデオが録画されているか？
 		

特定のカメラの検索






大量のビューとカメラがある場合は、カメラ名を検索して、カメラを見つけることができます。

1. ビューリストの上にある  をタップします。
2. カメラの名前を入力します。

ビューのフィルタリング


特別なタイプのビューを表示したい時、またはビューを少なくしたい時はフィルターを適用できます。すべてのビューは、表示されるかフィルタリングされるかに関係なく、**フィルタ**をタップすると表示されます。もう一度ビューを含めるよう、いつでも選択できます。

ビューのフィルタリング方法は、デバイスのオペレーティングシステムによって異なります。

1. ビューをフィルタリングするには、
 - Android - 右上の  をタップします。フィルターが常時適用されている場合は、アイコンにチェックマークが付けられます 
 - iOS - 右上の  をタップします。フィルターが常時適用されている場合は、青いアイコンが示されます 
2. ビューを含めたり除外したりするには、ビューをタップするか、スライダーを使用します。
3. フィルタを適用し、ビューの一覧に戻るには、
 - Android - 右上の  をタップします
 - iOS - 右上の[完了]をタップします



フィルタの選択を破棄します。

選択を保存していない場合は、破棄できます。

- Android - 左上の  をタップします
- iOS - 選択を手動で取り消します



全画面でライブビデオを操作する

PTZ（パン/チルト/ズーム）制御とPTZプリセット位置を使用する

パン/チルト/ズーム（PTZ）カメラで閲覧している場合、（Android）または （iOS）をタップすることでPTZコントロールを使用できます。コントロールを一度タップすると、1ステップパンまたはズームします。

システム管理者がManagementClientあるいはManagementApplicationでPTZカメラのPTZプリセットを作成した場合は、PTZモードでデバイスのPTZプリセットを使用できます。PTZプリセット位置はビューの事前指定された位置です。


デバイス上のオペレーティングシステムによりどのようにプリセットPTZにアクセスするか。

- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします

[PTZプリセット] リストで、プリセットを選択してその使用を開始します。

ズームインまたはズームアウト

ズームインまたはズームアウトを実行し、ビデオを詳細に確認できます。

- ズームインするには、 をピンチアウトまたはタップします
- ズームアウトするには、 をピンチインまたはタップします

XProtect Mobileはデジタルズームを使用します。

画像の切り取りまたは画面に合わせたサイズ調整

スクリーンにイメージがフィットするようにリサイズしたり、切り取りが可能です。デフォルトでは、画像は画面に合わせて調整されています。

画像の外側の部分は削除されます。フルスクリーンでイメージをクロップするには2度タップ。イメージのアスペクト値は保存されます。



ビューの他のカメラを表示する

ビューに他のカメラがある場合は、左右にスワイプし、ビデオを表示できます。



再生モードへの切替え

録画中に確認したいものがある場合は、再生モードに切り替えてビデオの確認または調査を開始することができます。

再生モードに切り替えるには：

- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします。







調査中にライブビデオの監視を続けるには、 をタップしてピクチャ・イン・ピクチャをオンにします。ピクチャ・イン・ピクチャオプションをオフにするには、 を再度タップします。

ピクチャ イン ピクチャの使用

調査したい対象が見つかっても、現在の状況の監視を中断したくない場合は、ライブビデオをピクチャ・イン・ピクチャ (PiP) に表示しながら、同時にビデオを再生できます。

ピクチャ・イン・ピクチャ (PiP) をオンにするには：

1.  (Android) または  (iOS) をタップして、ライブモードから再生モードに切り替えます。
2. あなたのデバイスのオペレーティング システムにより：
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします





PiPでは受信音声は利用できません。



PiPウィンドウを移動するには、PiPウィンドウをタップ&ホールドし、画面上の希望の場所にドラッグします。

ライブビデオに戻る

ライブビデオを全画面で表示するには：

- PiPウィンドウをダブルタップします
-  (Android) または  (iOS) をタップします

スナップショットの作成

ライブビデオを見たり、再生するとき、また、興味のあるものを見つけたとき、デバイスでそのコンテンツのスナップショットを撮ることができます。



十分なユーザー権限がなければ、XProtect Mobileアプリの使用時にスナップショットを撮れません。詳しくは、システム管理者に確認してください。



スナップショットはモバイルデバイスに保存されます。

- Android - /mnt/sdcard/MilestoneでデバイスのSDカードに保存されたスナップショットを表示します。
- iOS - **フォト ライブラリ**でスナップショットを表示します。



保存場所は変更できません。

ライブモードまたは再生モードでスナップショットを撮るには:





- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします

ビデオ録画の検索と表示

再生モードでは、カメラから録画ビデオにアクセスできます。












カメラでビデオ録画を表示する

オペレーティング システムによりどのように録画デバイスアクセスにアクセスするか。



1. カメラを含むビューで、カメラのプレビュー画像をタップします。
2.  (Android) または  (iOS) をタップします。
3. カメラから録画のリストを表示するには:
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします

録画されたビデオの再生





タイムラインコントロールを使用し、録画されたビデオを再生します。コントロールはユーザーの操作に応じて表示されたり非表示になったりします。

-  - タップして時間ピッカーを開くか、タイムラインをスクロールして、録画の特定の時間に移動します (ページ45の再生タイムラインの使用 (説明付き)を参照)
-  - 再生速度を上げる/下げる
-  (Android) または  (iOS) -  (Android) または  (iOS) をタップすると、ビデオを逆再生または再生したり、一時停止したりできます
-  (Android) または  (iOS) - 前のシーケンスまたは次のシーケンスに移動します
-  (Android) または  (iOS) - シーケンス内のひとつ先のフレームに進むか、ひとつ前のフレームに戻ります
-  - カメラから送られるビデオをピクチャ・イン・ピクチャに表示するか非表示にします (ページ42のピクチャインピクチャの使用を参照)

ビデオ録画の音声を再生します (マイクとスピーカー搭載のカメラ)

録音された受信音声と送信音声を再生するには、 (Android) または  (iOS) をタップして [音声ソース] リストを開き、ビデオ録画の再生中に再生したい音声デバイスを選択します。

オプションは以下のとおりです。

-  **すべてのソース** - 録音された受信音声と送信音声の両方を再生します
-  **マイク** - 受信音声のみを再生します
-  **スピーカー** - 送信音声のみを再生します
-  **音声オフ** (デフォルト)



音声の再生は、ビデオ録画が存在し、録画を通常のスピードで再生する場合にのみ可能です。

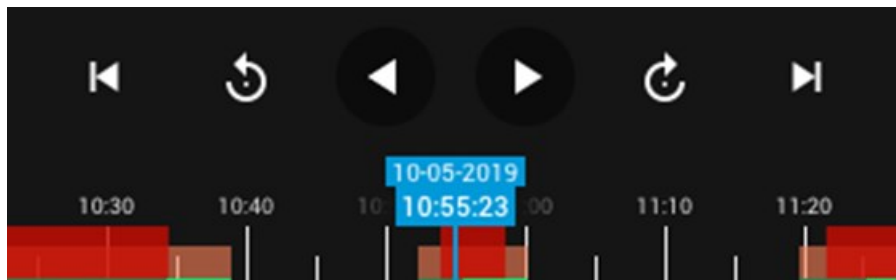
その他の録画の読み込み

最新の履歴 (iOS) または **履歴** (Android) リストで、希望のシーケンスが見つからないものの、他の録画が存在する場合は、録画を追加で読み込み、調査を続けることができます。

- AndroidおよびiOS - [その他の読み込み]をタップします。

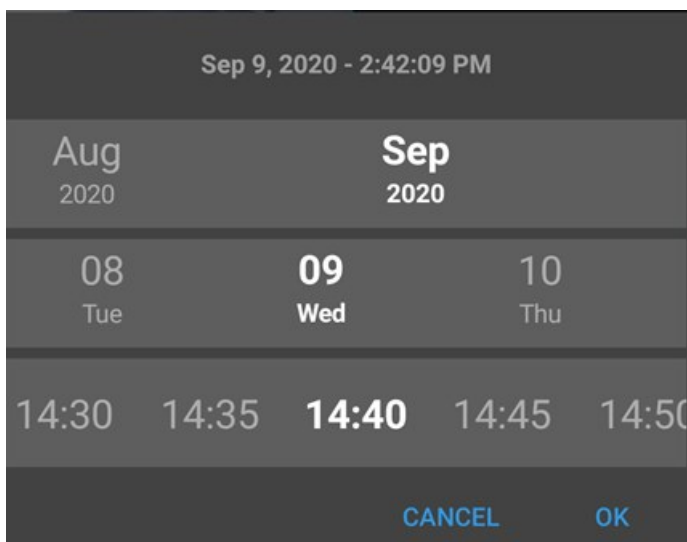
再生タイムラインの使用 (説明付き)

タイムラインバーで、録画を再生したい場合、または調査を表示したい場合の録画時間を指定できます。



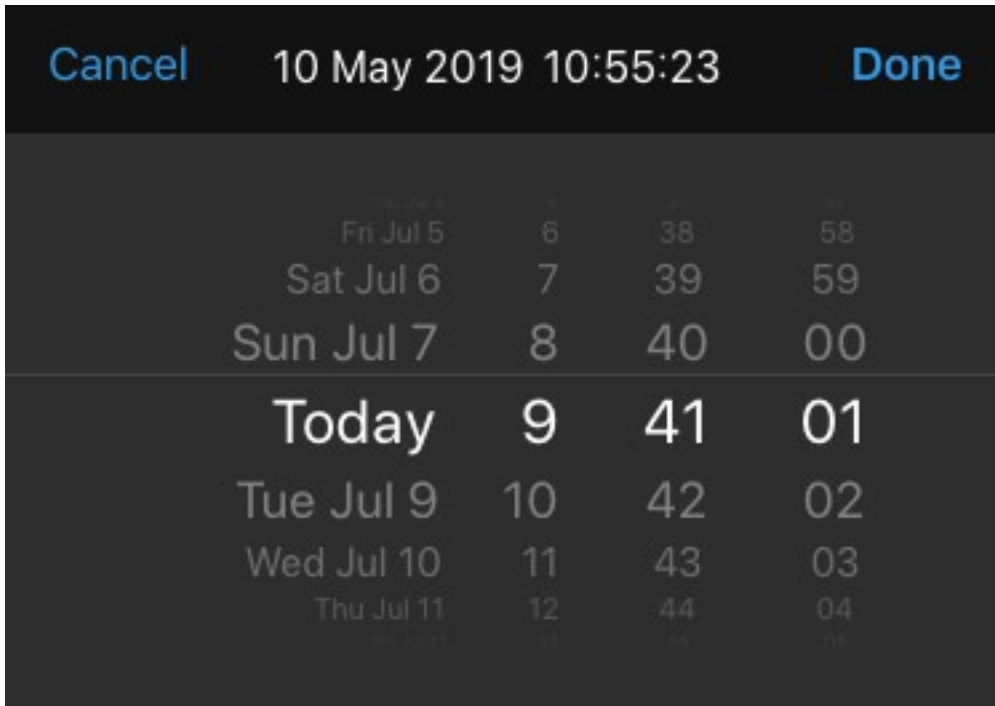
再生モードでこれを行うには:

- (Android) タイムラインバーで、青い時間インジケーターをタップして時間ピッカーを開き、再生したい録画の部分の開始時間を選択します。[OK]をタップします。選択した開始時刻に録画が読み込まれます。



- (iOS) タイムラインバーで、青い時間インジケーターをタップして時間ピッカーを開き、再生したい録画の部

分の開始時間を選択します。[終了]をタップします。選択した開始時刻に録画が読み込まれます



- タイムラインバーで時間スクローラーを右または左にドラッグすると、再生したい録画の部分の開始時間を調整できます。時間スクローラーの中央で、青い時間インジケーターは録画で選択された時刻を示します。時間スクローラーをドラッグする間、録画で現在選択しているフレームが表示されます。時間スクローラーのドラッグをやめると、再生したい録画が選択した開始時刻に読み込まれます。

タイムラインに表示される最大期間は24時間で、フレームの間は4時間の間隔になっています。フレーム間の最小間隔は1分間です。

タイムラインの色分け

- 明るい赤は記録を表します
- 赤はモーションを表します
- 明るい緑は受信音声を表します
- 緑は送信音声を表します

調査では、同じ手順で表示したい調査の時刻を指定できます。

調査の表示または作成





XProtectWebClientで調査を使用している場合は、XProtectMobileを使用して、ビデオと調査を表示、作成、および削除できます。調査からビデオをプレビューできますが、モバイルデバイスにダウンロードすることはできません。

実行中の調査と完了した調査の表示

モバイル デバイスのオペレーティング システムによる調査にどのようにアクセスするか。







上から下へ調査のリストをスワイプすることで、リストを素早く更新できます。リストの一番上にいなくてはなりません。そうでない場合はスクロールしてください

1. 調査へ行く：
 - Android - [調査] をタップします
 - iOS - [ナビゲーション] ペインで  をタップします
2. オプション： [調査] 画面では、以下を行うことで調査対象にフィルターをかけることができます。
 - **個人の調査** - 自分の調査を表示します
 - **すべての調査** - 他のユーザーが作成した調査と自分の調査を表示します。管理者はこの操作ができる必要があります。
3. 調査の詳細を見るには、調査をタップ。
4. 調査でビデオを閲覧するには：
 -  (Android) または  (iOS) をタップします
5. 調査で特定の期間に移動するには、タイムラインバーで  をタップし、時間ピッカーを開くか、タイムラインをスクロールして録画の特定の時間に移動します ([ページ45の再生タイムラインの使用 \(説明付き\)](#) を参照)。

調査の作成

調査を作成すると、モバイルデバイスではなく、接続先のモバイルサーバーにビデオが保存されます。デバイスでビデオを表示するには、サーバーに接続する必要があります。

1. 録画したカメラを見つけ、動画を最大化するためにプレビュー イメージをタップ。
2.  (Android) または  (iOS) をタップし、続いて
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします
3. 調査期間を定義するための時間を指定します。
4. [作成] をタップします。

調査で音声を再生する



音声デバイス（マイクとスピーカー）が接続されたカメラで調査を作成した場合、通常のスピードで録画を再生する際に、録音された受信/送信音声を再生できます（[ページ43のビデオ録画の検索と表示](#)を参照）。

デバイスから監視システムにビデオをストリームします。

システム管理者がManagement ClientまたはManagement Applicationでビデオプッシュを設定し、使用可能にした場合は、デバイスから監視システムに音声付ビデオをストリームすることができます。詳細については、「[ページ30のモバイルデバイスからのビデオのストリーム（説明付き）](#)」および「[ページ11のビデオプッシュ使用の要件](#)」を参照してください。

ビデオプッシュのアクセスと使用方法は、デバイスのオペレーティングシステムによって異なります。


1. ビデオプッシュへのアクセス:

- Android - ナビゲーションバーで  をタップします
- iOS - ナビゲーションバーで  をタップします

2. デバイスの前面カメラまたは背面カメラが撮影するビデオをストリーミングする:

- AndroidとiOS -  をタップします

3. ビデオのストリーミング開始:

- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします

4. オプション。ビデオプッシュの音声を開始する:

- AndroidおよびiOS -  をタップします。

5. オプション。ビデオプッシュの音声を停止する:

- AndroidおよびiOS -  をタップします。

6. レコーディング停止:


- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします

関心がある瞬間をブックマークに登録

XProtect VMS製品ではブックマークを使用できます。



後で調査したいものを見つけた時は、ビデオ録画中のビデオのモーメントをブックマークできます。

ブックマークを追加するには:

- Android - 右上の  をタップします
- iOS - 左上の[ブックマーク]をタップします

ストリームしたビデオの調査

XProtect Mobileはストリームするビデオを録画し、調査できるようにします。

1. ビデオプッシュカメラのビューに移動します。
2. カメラをタップして、全画面に移動します。
3. 録画を再生するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。
4. 再生コントロールを使用して、ビデオを調査します。

アラームを表示


様々なイベントをアラームのきっかけとすることができます:





- カメラが動作を停止した。
- 窓ガラスが砕けた、または壊れた。
- ロッカーに侵入された。
- カメラでブラックリストに入っているナンバープレートが確認された。



アラームを閲覧するには、システム管理者にアラームを設定し、必要なユーザー権限を与えてくれるよう依頼してください。

アラームを見る:

1. [アラーム]を開きます:
 - Android - [アラーム]をタップします
 - iOS -  をタップします
2. **すべてのアラーム**リストから、ビデオを見たいアラームを見つけてタップします。

3. アラームの詳細を見る：
 - イベントの種類
 - 発生時期
 - アラームの状態
 - アサインした人へ
 - アラームのプライオリティ
4. ビデオを再生するには:
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします
5. ビデオを巻き戻したり早送りしたり、あなたが見ているイメージが撮られた時間を確認できます。
6. オプション。カメラに音声デバイス（マイクとスピーカー）が接続されている場合、通常のスピードでビデオ録画を再生する際に、録音された受信/送信音声を再生することができます（[ページ43のビデオ録画の検索と表示](#)を参照）。
7. ビデオを後で保存するまたは他の人と共有する:
 - Android -  をタップします
 - iOS - 
8. 調査期間を定義するための時間を指定します。
9. [作成]をタップします。

XProtect Mobileでアクションを使用する

システム管理者が権限を付与した場合は、必要に応じて、アクションを起動できます。クライアントでは、アクションは、アクティブ化できる出力およびイベントです。たとえば、次のことができます。

- 録画を開始または停止する
- 別のフレームレートへの切り替え
- SMSおよび電子メール通知の起動
- PTZカメラをPTZプリセット位置に移動する
- ハードウェア出力をアクティブ化


アクションの表示と起動

複数の場所でアクションを表示して起動できます。

- ビューの一覧
- ライブビデオを表示しているとき
- [アクション] 画面



[アクション] 画面でアクションを表示する

1. 出力とイベント別にグループ化されたアクションのリストを表示するには:

- Android - [アクション]をタップします
- iOS -  をタップします

アクションの起動

1. アクションを起動する方法は2通りあります。

- AndroidおよびiOS - アクションの一覧でアクションをタップし、そのアクションを起動したいことを確認します
- AndroidおよびiOS - ライブモードで、カメラツールバーの  (Android) または  (iOS) をタップし、カメラに関連付けられており、起動したいアクションを選択します

通知に応答する

XProtect Mobileは、アプリが使用されていない時でも、通知して注意を喚起できます。例えば、アラームを鳴らすきっかけがありシステムが通知する時。

今/後で反応

すぐに応答するには、通知をタップして、XProtect Mobileを開き、何が起こったのかを調べます。このときに、XProtect Mobileは通知を保存しません。

すぐに反応したくない時は、通知を後で見ることができます:

- Android - [通知領域]に移動します。通知ドロアを開き、詳細を表示します。
- iOS - ロック画面または**Notification Center**に移動します

ドア表示して対応する

ドアの状態（例えば、閉、ロック解除）のチェック、ライブビデオの確認、ドアをモニタリングしているカメラから録画されたビデオの再生を行うことができます。カメラに音声デバイスが接続されている場合は以下も可能です:


- 受信音声を再生する、およびライブモード中にプッシュ ツー トーク (PTT) 機能を使用する
- 再生モード時に受信音声と送信音声を再生する


ドアの状態によって、ドアをロックまたはロック解除できます。



ロックおよびロック解除が標準オプションですが、他のコマンドがアクセス制御システムで定義されている場合があります。

1. **アクセスコントロール**を開きます：

- Android - **アクセスコントロール**タブをタップしてから  をタップし、**ドア**を選択します



- iOS -  をタップしてから **ドア**をタップします

ドアのリストが表示されます。



2. 見たいドアをタップします。

3. ドアをモニターしているカメラからライブモードでビデオを見ます。

4. オプション。受信音声の再生を開始するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。受信音声を停止するには、 (Android) または  (iOS) をタップします (マイク搭載のカメラのみ)。

5. オプション。プッシュ・トゥ・トークを開始するには、 をタップして押し続けます。音声の送信をストップするには  アイコンをリリースします (スピーカー付きカメラの場合のみ)。

6. 必要に応じて、ドアを**ロック**または**ロック解除**します。ドアの状態が変わります。

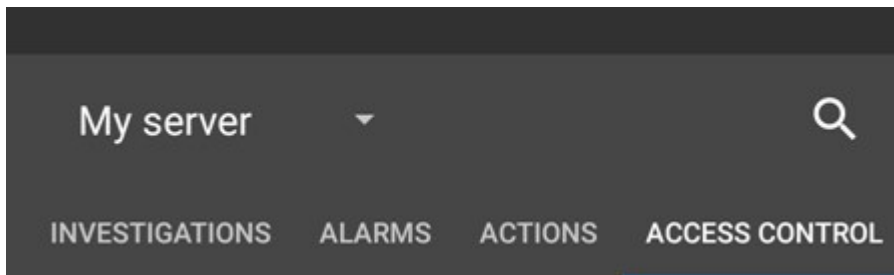
7. ビデオを再生するには、ライブ画像をタップしてから  (Android) または  (iOS) をタップします。再生モードでも、ライブモードでビデオストリームを見ることができます。

8. オプション。カメラに音声デバイス (マイクとスピーカー) が接続されている場合、通常のスPEEDでビデオ録画を再生する際に、録音された受信/送信音声を再生することができます ([ページ43のビデオ録画の検索と表示](#)を参照)。



アクセスリクエストへの応答

誰かがドアコントローラーを使用して建物に入ろうとしたもののアクセスが拒否されると、あなたのアプリにアクセスリクエストが送られます。アクセスコントロールシステムにより、ドアを開けてその人を建物に入らせるなどして応答することができます。

1. プッシュ通知をサポートするVMSシステムを使用している場合は、通知バーからアクセスリクエストを開きます。これはAndroidのタブレットの例です。iOSでは違って見えるでしょう。










または

1. アプリを開き、サーバーリストから接続したいサーバーをタップしてください。
2. **アクセスコントロール**を開きます：
 - Android - **アクセスコントロール**タブをタップしてから  をタップし、**アクセスリクエスト**を選択します
 - iOS -  をタップしてから**アクセスリクエスト**をタップします
3. アクセスリクエストをタップして開きます。アクセスリクエストを許可した後、以下を見ることができます：
 - ドアのカメラからのライブビデオ
 - 建物に入ろうとしている人物の詳細



アクセスリクエストは2分後にリストから消えます。このイベントは**イベント**リストで確認できます。

4. カメラを切り替えるには画面上のライブイメージをスワイプしてください。3台以上ある場合は、数回スワイプします。
5. オプション。受信音声の再生を開始するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。受信音声を停止するには、 (Android) または  (iOS) をタップします（マイク搭載のカメラのみ）。
6. オプション。プッシュ・トゥ・トークを開始するには、 をタップして押し続けます。音声の送信をストップするには  アイコンをリリースします（スピーカー付きカメラの場合のみ）。
7. ここでドアを**ロック**または**ロック解除**できます。





8. カード保持者が入ろうとしたとき、あるいはその前にビデオを再生するには：
 1. ライブ画像をタップします。大きい画面にライブビデオフィードを表示。
 2. 再生モードに切り替えるには、 (Android) または  (iOS) をタップします。ビュー変更して、ライブビデオを一番上に表示することもできます。
 3. オプション。カメラに音声デバイス（マイクとスピーカー）が接続されている場合、通常のスピードでビデオ録画を再生する際に、録音された受信/送信音声を再生することができます（[ページ43のビデオ録画の検索と表示](#)を参照）。

アクセスコントロールイベントの調査

過去1時間に誰が建物に入ったのか、誰がアクセスを拒否されたのかを確認できます。アクセスコントロールイベントには**ドアコントローラーへの攻撃** および、**ドアコントローラーの電源障害**のような事例もあります。そのようなイベントは、アクセスコントロールシステムで定義されます。



デフォルトでは、過去30日間のすべてのアクセスコントロールイベントが表示されます。

1. **アクセスコントロール**を開きます：
 - Android - **アクセスコントロール**タブをタップしてから  をタップし、**イベント**を選択します
 - iOS -  をタップしてから**イベント**をタップします
2. オプション。イベントがリストにない場合は、リストの下部にある**さらに読み込む**をタップして、まだ表示されていないイベントを表示します。
3. イベントをタップして詳細を表示します。たとえば、イベントが**ドアロック中**の場合は、**ドアを表示**をタップしてドアの状態を確認したり、ドアをロック/ロック解除したりします。
4. イベント発生時に録画したビデオを再生するには：
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします
5. オプション。カメラに音声デバイス（マイクとスピーカー）が接続されている場合、通常のスピードでビデオ録画を再生する際に録音された双方向音声を再生できます（[ページ43のビデオ録画の検索と表示](#)を参照）。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>